

米国における ITアーキテクト/ITスペシャリスト認証

- 米国の非営利団体が、IT認証の標準化作業に取り組んでいます
- その代表格が TOG (The Open Group) で、汎用性の高い ITアーキテクト/ITスペシャリスト認定を実施しています

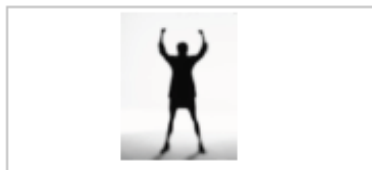
TOGのITアーキテクト/ITスペシャリスト認定の特徴

1. 社外有識者による審査



大手ITベンダーが受託で審査を実施

2. ベンダー中立



ベンダー非依存の団体として運営を管理

3. ポータブル



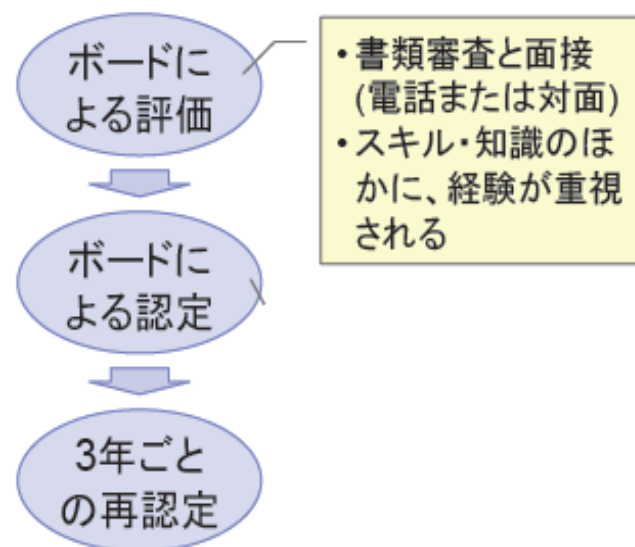
企業間で持ち運び可能

4. グローバル



グローバル共通のスキル・知識・経験の基準を定義

ITA認定の流れ



※ITA認定の種類

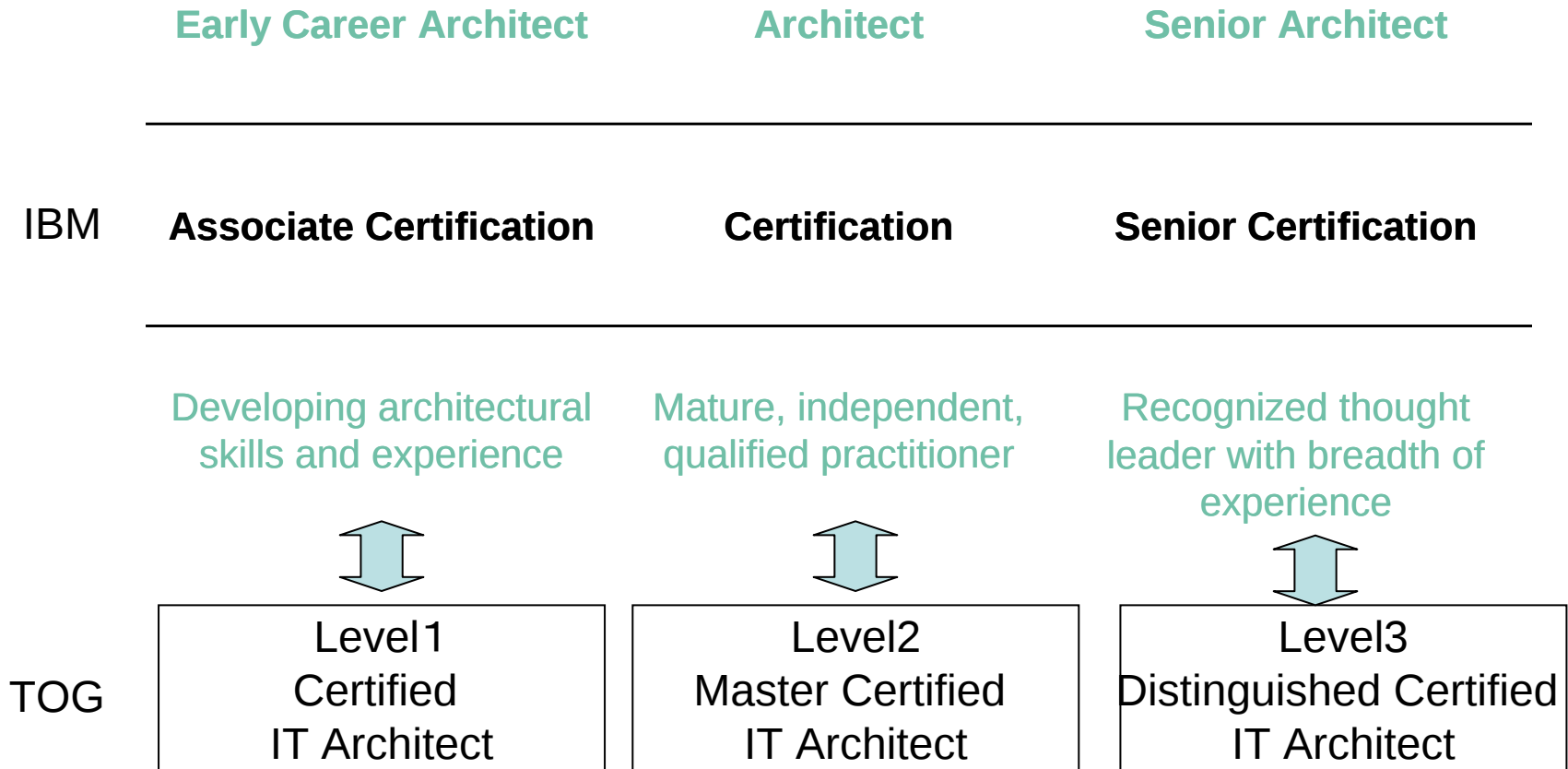
Level 1: Certified IT Architect

Level 2: Master Certified IT Architect

Level 3: Distinguished Certified IT Architect

IBMのArchitectとTOG(The Open Group)の承認レベルの関係

- ・IBMのArchitectにも、TOGと同じ3つのレベルがあります。
- ・IBMのArchitectとTOGの3つのレベルの間に、互換性があります。



上記は、Architectについて説明しましたが、ITSも同じ(TOGと連携)です。

IBM認定制度の変化(グローバル共通化、バーサタイル化)

新しいIT技術者像の視点

- 変化が激しい昨今のビジネス環境で、新しいIT技術者像が求められています
- これまでの専門性を磨くキャリアのほかに、複数の専門スキルを持ち備える人材にニーズが集まっています

「2010年多能化時代の全盛へ」

2010年までに...

- ✓ ITに従事する10人のうちの6人は、ビジネス・サイドに近い役割を担うようになるでしょう
- ✓ 中堅ないし大企業のIT部門の規模は、2005年から少なくとも30%縮小するでしょう
- ✓ ITスタッフの10-15%は、タスクの自動化あるいはITへの興味を失うことが原因で、IT部門を離れるでしょう



調査会社ガートナー(2005年)

スペシャリスト(専門職)



知識と経験により特定領域に精通し、高い専門性をもつ



環境変化の要因

- IT環境(開発・運用)のグローバル化
- 企業のM&Aやアウトソーシングの増加
- モバイル・デバイスの普及
- IT部門が取り扱うデータ量の増加

バーサタイル(多能職)



高い専門性を持ちつつ、臨機応変に幅広い領域への対応力をもち備える

1991年～スペシャリスト制度

2011年～キャリア・フレームワーク